

宇佐市民図書館 2003.09

郷土スペース月報

http://www.usa-public-library.jp/



目次

- ◆ 今月の表紙：新版大日本相撲協会力士写真番付（部分）
- ◆ 男女ノ川と双葉山プロフィール（写真番付より）
- ◆ 龍膽・小野精一編「大分県人名辞典」本文編（16）
- ◆ 新着郷土資料目録・平成十五（二〇〇三）年（8月）

4 2 1 1

今月の表紙 「新版大相撲相撲協会力士写真番付」より双葉山と男女ノ川。昭和13年5月場所改正。昭和13年5月10日発行。発行所・東京市荒川区上尾久町／阿波屋号・山田徳太郎。力士57名や行司の写真とプロフィールを掲載。双葉山の出生地は中津市となっている。

『新版大相撲相撲協会力士写真番付』
(昭和13)より

三十二代目横綱
双葉山定次

立浪 部屋
年齢 二十七歳
出生地 大分県中津市
初土俵 昭和二年五月
入幕 昭和七年二月
身長 五尺八寸
体重 三十四貫
得手 右四ツ下手投

三十一代目横綱
男女ノ川 登三

渡ヶ嶽 部屋
出生地 茨城県筑波郡
菅間村
初土俵 大正十二年一月
入幕 昭和三年一月
身長 六尺四寸
体重 四十二貫
得手 小手投ゲ

龍膽・小野精一編

大分県人名辞典

本文編(16)

遺族から宇佐市に寄託された自筆原稿より、本文を順次紹介しています。

収録人名一覧は、No.7(2000.10)~No.14(2002.5)に連載しました。

いしか

いしかわ・たけよし 石川武美

明治二十年、宇佐郡津房村に生まる。宇佐中学を中途退学。十七歳、東京同文館書店に入り苦学。同四十四年、羽仁モト経営の「婦人の友」に入り、編輯技術を修め、大正元年、同僚都河龍の婦女界の経営に当り、大正六年二月、独立して主婦の友を創刊した。大正十二年、震災の打撃も間もなく復興し、後ち国民新聞副社長となり、真摯なるクリスチャンにて、帝大に基督経講座新設。基金を寄附し、大正十三年紺綬褒章を賜わった。

(大典)

いしかわ・てつ 石川テツ

直入郡竹田村石川華次郎の妻。夫痛労病に罹り、病床に苦吟していたが、不法にも叱り罵る。テツ女は、毫も怖わず、温和に勸り看病に尽くす多年、実はテツ女は江戸の産。石川某の妻となり、藩に下るや間もなく夫に死分れたので、華次郎の後妻となれるもの。親戚故旧とてなく、身の薄幸を嘆ずる事もあつたが、病夫に待しては、少しも不扶の色を見せず、明治十三年には旧宅を売り華次郎の実家赤座家と同棲したが、嫂と睦まじく負順限りなしてであった。明治十九年、県より其善行を表せられた。

(君彰録)

いしさが・みづえ 石坂瑞枝

石坂氏大神比義の裔。代々御杖人として宇佐八幡宮に奉仕す。始め重代といつていたが、職名の御杖を瑞枝と改めた。慶応二年、時枝重明、

奥並継日田郡代に捕えられるや脱走し、苦心惨憺生死の巷に出入した。沢総督の長崎に下るや其父方あるを以て重任され、機械奉行として活動した。明治三十年、六十歳で歿した。遺編「郷斧集」は志士と交遊中の作歌を輯めたもので、沢宣嘉の郷斧に筆を添えての一首がある。いろいろの言葉の花は咲きにけり 大和心の種一つより

いしさが・みづえ 石坂瑞枝

石坂氏は代々宇佐神宮に御杖人として奉仕していた。氏の幼名重代。後ち職名御杖を瑞枝と改め、桃酒舎と称した。彼の御許山勤王討幕の挙に参じたが、事敗れ、同志の時枝、奥兄弟の逮捕されるや小山田、吉成、永弘の四人と長州に脱したが容れられず、岡山、京師と流浪し、遂に沢主水の九州討伐として下るに

会し、其機械奉行として活動した。其著郷斧集に能く当年の心境を詠んでいる。明治三十一年、六十歳で歿した。

ぬさとりて常にはらひし夷らを 鉾とりてはらふ身とはなりけり

君ならて引きはかへさし梓弓 やはたの神のわれはみやつこ

桃酒舎

いしまつ・しょういち 石松勝一

中津金谷の人。安政元年生まれ。

明治六年、鷹居匡と共に上国視察に上り、同十年、村上一策等と重臣(木戸、大久保ら)暗殺を企て、大坂旅宿で捕縛された。当時、中津同士の捕えられたものは川村、村上、岡部であった。京都二條城内に監禁され、十一年八月、判決で仙台の獄に

投ぜられた。其判決文に、

申渡、中津金谷住、士族、石松勝一

其方、明治十年の暴挙に際し、川村矯一郎の教唆により、村上一策と重臣暗殺を企てし科により、禁錮七年に処すべきを除族の上、禁錮一年に申付

明治十一年八月二十日 大審院

仙台の獄を出たとき、丸山作樂の夫人が一首を送った。

梅と匂ひ桜とさかまし時を待て

共に見まほしから国の月

歿年不詳。(宇佐史談)

因に増田の謀主石松藤四郎というがある。同一人乎。

いしまる・しげみ 石丸重美

(一八六五〜一九二三)

工学博士。臼杵の人。袈裟藏の長子。明治二三年、東大工科を卒業。二十四年、内務省技師補、二十六年、通信省技師、国府津保線事務所長より、次で米子出張所長となる。四十年、欧米に派遣され、大正二年、帰朝と共に鉄道技監となり、大正四年、工学博士となり、同年、退官。大正六年、東京鉱材会社社長となり、十一年、貴族院議員勅選する。十二年歿五十八歳。

いしゆいはんぶつ 以首一半仏

讚岐の真海の来遊を待ち、大に俳道に耽っていた。文政十二年生まれで、明治二十八年、六十七歳で歿した。秋立つや雨に洗ひし夜の空 辞世 いせまつ 伊勢松 松丸伊勢松富来村の人。父源七家貧なる故を以て六歳出て酒屋に奉公す。時に母病床に至り妹生れて僅に一年、伊勢松炊事をなし、母に看病し、幼妹を保育す。暇あれば酒掃し、松葉を拾い、毎食母及妹に飯ぜしめ、己は其後に食す。甘味あれば、必ず母と妹に進め、日を経て変味するに非ざれば敢えて食わず、夜は松葉を燃やして室内を暖む。其心を用ふる大人も及ばず里正状を枰築侯に陣し、藩米一俵を賜る。明年、病えて逝く時に寛政七年なり。明治三十七年、碑を建つ。子爵松平親信文を選す。

新着郷土資料目録 平成15(2003)年【8月】

書名/人名/出版社/出版年(月)/請求記号/(備考)

- 北馬城の昔をたずねて/北馬城の昔をたずねる会/2003.6/A214キ/(寄贈)
 北馬城の昔をたずねて 続/北馬城の昔をたずねる会/2003.6/A214キ/(寄贈)
 福澤諭吉著作集 第11巻/福澤諭吉/慶應義塾大学出版会/2003/A3097/(購入)
 くじゅうタデ原地域自然環境学術報告書/大分県生活環境部/2003/A400オ/(寄贈)
 大分県日田盆地における開発史的総合研究/中村賢二郎/別府大学/2003.3/A614へ/(寄贈)
 大分県文化年鑑2002/大分県芸術文化振興会議/2003.3/A700オ/(寄贈)
 かぐの実/臼杵市文化連盟40周年記念誌編集委員会/臼杵市文化連盟/1999.4/A700ウ/(寄贈)
 環境と文化の世紀 シンポジウム 講演要旨/別府大学/2002.10/A709へ/(寄贈)
 佐藤義美の詩によるこどものうた50曲集/佐藤義美/音楽之友社/1998/A760サ/(寄贈)
 早春賦 吉丸一昌/臼杵文化連盟/2003/A760ヨ/(寄贈)
 東窓漫筆一/重松義胤/安部伴/2003/A911.1シ/(寄贈)
 青りんご 句集/高井邦子/東京四季出版/2003.5/A911.3タ/(寄贈・複本)
 ともだちシンフォニー/佐藤義美/JULA出版局/1990/A911.5サ/(寄贈)
 百まんにんの雪人形/佐藤義美/新学社/2002/A913サ/(寄贈)
 雁立/清水基吉/鎌倉文庫/1946/A913シ/(寄贈)
 蕪栖舎家集/重松義胤/安部忠夫/2003/A919シ/(寄贈)
 改造 昭和17年10月号/改造社/1942/A905Y42/(購入)
 改造 昭和19年2月号(横光利一「秋立ちて」)/改造社/1944/A905Y44/(寄贈)
 新潮 昭和21年7月号(横光利一「木蠟日記」)/新潮社/1946/A905Y46/(寄贈)
 新潮 昭和21年12月号(横光利一「秋の日」)/新潮社/1946/A905Y46/(寄贈)
 新潮 昭和23年1月号(逝ける横光利一)/新潮社/1948/A905Y46/(寄贈)
 新潮 昭和23年2月号(横光利一「洋燈」)/新潮社/1948/A905Y46/(寄贈)
 改造文芸 昭和23年3月号/1948.3/A905Y48/(寄贈)
 この一冊でわかる昭和の文学 『新潮』2月臨時増刊/新潮社/1989/A905Y89/(寄贈)
 戦争 詩集/北川冬彦/厚生閣書店/1929/A911Y29/(寄贈)
 新選横光利一集/横光利一/改造社/1928/A913Y28/(寄贈)
 高架線/横光利一/新潮社/1930/A913Y30/(寄贈・三和文庫)
 新選池谷信三郎集/池谷信三郎/改造社/1930/A913Y30/(寄贈)
 雅歌/横光利一/蒼樹社/1946/A913Y46/(寄贈)
 寝園・雅歌/横光利一/筑摩書房/1952/A913Y52/(寄贈)
 書方草紙/横光利一/白水社/1935/A914Y35/(寄贈・三和文庫)